

2009.1.16

毎日新聞

「置き雪」除去の実験

北海道開発局

美幌の住宅街 新型除雪車で検証

北海道開発局は除雪車

が通過した際に左右

に雪がこぼれる「置き

雪」を減らそうと、新

型除雪車（8ト）によ

る実験を、網走管内美

幌町の住宅街をモデル

地区で始めた。狭い場

所でも雪を除去できる

かなど作業効率を検証

する。

置き雪は、核家族化

と高齢化の進展ととも

に苦情の種になってお

り、特に住宅街では「自

宅前の置き雪が氷の塊

になり、重労働を心配

する高齢者が増えてい

る」（美幌町）。

除雪車は旭川市の機

械金物製造会社「オノ

デフ」が開発。雪を抱

える正面の刃（ブレイ

ド）の両側の端に取り

付けた「シャッター」

が雪が置き去りになる

のを防ぐ役目を果た

す。住宅街の壁や塀際

など狭い場所でも楽に

作業ができるという。

実験は14日から2月

13日までの1カ月間。

開発局はデータを報告

書にまとめ、豪雪地の

自治体に提供する。

【渡部宏人】



〔第3種郵便物認可〕

置き雪の解消などを目的に開発された新型除雪車
|| 網走管内美幌町で